

# 2022 ズバリ! 的中



# 世界史

## 東京大学

### ラス=カサスという人物を問う問題が的中

#### 入試問題

#### 前期日程

#### 世界史 第3問 問(4)

##### 第3問

戦争や軍事的な衝突は、国際秩序や権力のあり方を大きく変えただけでなく、人々の生活や意識にも多大な影響を与えてきた。このことに関連する以下の設問(1)~(4)に答えよ。解答は、解答欄(ハ)を用い、設問ごとに行を改め、冒頭に(1)~(4)の番号を付して記せ。

問(1) イスラム教成立以前のアラビア半島には、エチオピア高原を拠点とする王国が紅海を渡ってたびたび侵攻し、イエメン地方に影響力を及ぼしていた。4世紀にキリスト教を受容したこの王国の名称を記せ。

問(2) 1096年に遠征を開始した十字軍は、イェルサレム王国などの十字軍国家を建設した。当初、イスラム勢力の側は地方勢力の分立により、十字軍に対抗することができなかった。しかし、13世紀末になって十字軍の最後の拠点アッコ(アッコ、アッカー)が陥落し、十字軍勢力はシリア地方から駆逐された。このときアッコを陥落させた王朝の名称を記せ。

問(3) 1511年にポルトガルはマラッカを占領した。マラッカは東南アジアの海上交易の一大中心拠点であったため、ムスリム商人たちは拠点をマラッカから移動させて対抗し、東南アジア各地の港に新たな交易中心地が発展することになった。こうして新たに発展した交易港のうち、スマトラ島北西部にあり、インド洋に面した港市の名前を記せ。

問(4) 16世紀、アメリカ大陸に進出したスペイン人征服者たちは、多数の先住民を殺害し、現地の社会を破壊した。また、彼らは征服地の農園や鉱山などで先住民に過酷な労働を強制した。スペイン人征服者のこのような行為を告発し、先住民の救済を訴えて『インディアスの破壊についての簡潔な報告』を著した人物の名前を記せ。

問(5) プロイセンは、ナポレオン軍に敗れて首都を制圧され、フランスとの過酷な内容の講和条約の締結を余儀なくされた。国家存亡の危機を目の当たりにして、連続講演「ドイツ国民に告ぐ」をおこない、国民意識の覚醒を訴えた哲学者の名前を記せ。

#### 河合塾

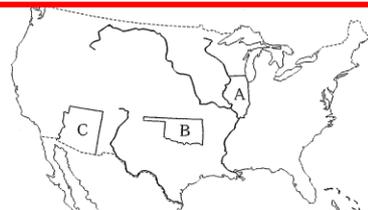
#### 第2回 東大入試オープン 22頁 第2問 問(3)(a)

##### 第2問

近年、世界は「多様性」を認め合う方向で努力が払われているものの、現実には様々な理由で弱者や少数者に向けた抑圧が今なお世界各地で行われている。抑圧された人々に関する以下の3つの設問に答えなさい。解答は、解答欄(ロ)を用い、設問ごとに行を改め、冒頭に(1)~(3)の番号を付して記しなさい。

問(3) 過酷な征服や植民地支配などに対し、抑圧される先住民の側に立って告発するなど、鋭い批判の目を向ける人物もいた。これに関する以下の(a)・(b)の問いに、冒頭に(a)・(b)を付して答えなさい。

(a) 16世紀半ばに著された『インディアスの破壊についての簡潔な報告』の中で、ラテンアメリカで展開されていた先住民に対する抑圧政策が厳しく批判されている。この告発を行った人物の名を示しつつ、何という先住民に対する制度が批判されたのかについて、1行以内で説明しなさい。



地図

注) 地図中の国境線及び州の境界線は現在のものであり、河川の支流は一部省略してある。

(b) アメリカ合衆国では西部開拓の進展に伴い、先住民(ネイティブ・アメリカン)に対する抑圧が顕著になっていった。1830年代にアメリカ合衆国を視察したフランスの思想家トクヴィルは、チョクトー族のミシシッピ渡河を目撃し、その光景を著書『アメリカのデモクラシー』に記している。先住民強制移住法によって、チェロキー族もミシシッピ川以西の保留地へと追われたが、その保留地は現在のどの州に該当するか、その場所を地図のA~Cから1つ選んで記号で記しなさい。また、その州境の一部となっているある緯線は、アメリカ合衆国の南北間対立をめぐる妥協と関連している。1820年に成立したその妥協の内容を、行を改めて1行以内で説明しなさい。